

有限責任中間法人 日本漢方交流会ニュース

金

匱 No.42

編集
発行

日本漢方交流会広報委員会

日本漢方交流会事務局 香川県仲多度郡琴平町225 TEL 0877-58-8581 FAX 0877-58-8583

日本漢方交流会ホームページ <http://www.kanpou.com/>

第7回 慢性難病フォーラム案内

日 時：平成21年5月31日(日曜)

場 所：チサンホテル新大阪 (TEL 06-6302-5571)

テーマ：ストレス社会の漢方治療 『不眠』

基調講演 講師 近畿大学医学部東洋医学研究所 新谷卓弘先生 「不眠の漢方治療」

講師 日本漢方交流会理事長 真鍋立夫先生 「不眠症の漢方的病理と臨床」

その他、アドバイザー数名

慢性難病フォーラムも7回目を向かえ、お蔭様で過去6回とも活気のあるフォーラムとなりました事を感謝いたしております。今回、テーマとして“ストレス社会の漢方治療”とし、主題として『不眠』とさせていただきます。最近のストレス社会における疾患の中で特に問題となっているのが、睡眠障害です。ストレスに対して強く影響を受け、眠り難くなった為に、スペースシャトル・チャレンジャー号の爆発事故、チェルノブイリ原発事故などの原因も作業従事者の睡眠不足と過労であったとされています。現在の睡眠薬を用いた治療では、自然な睡眠とはかけ離れた状況にあります。薬物の長期服用に対する副作用や体の歪も気になるところです。漢方薬学医学をもって、如何に新薬に対する歪を調整し、適正な睡眠をとり昼間の活動を活気ある伸びやかなものに出来るかです。我々薬剤師が、日々の活動の中で人々の睡眠を少しでも改善できるように、皆様と共に勉強したく、当フォーラムにおいて、店頭ですぐ実践できる知識を学べる場を提供したく思います。お問い合わせの上ご参加をお持ち申し上げております。

問い合わせ：聖寿堂薬局 TEL・fax 06-6694-1559

主 催：中間法人日本漢方交流会・学術部 薬剤師研修センター認証講座 3点

プログラム	※特別参加 中井康雄先生・西脇平士先生・広中隆志先生	15:25～16:05	話題提供：不眠症の治療 テレバシーを使って 横溝嘉昭先生
10:00	受付開始	16:05～16:50	話題提供：不眠の症例 太田順康先生
10:30～12:00	基調講演：[不眠の漢方治療] 医師 近畿大学東洋医学研究所教授 新谷卓弘先生	この他、話題提供者、三人の先生、本会終了は16:50を予定しています。	
12:00～13:30	昼食	参 加 費 2,500円(会員) 5,000円(会員外) 1,000円(学生)	
13:30～14:30	基調講演：[不眠症の漢方的病理と臨床] 薬剤師 日本漢方交流会理事長 真鍋立夫先生		
14:30～14:45	休憩		
14:45～15:25	話題提供：漢方精神科領域における統合失調症の漢方治療の実際 奥平智之先生	申込締め切り	平成21年5月20日(木)

第41回全国学術総会「香川大会」終了にあたり

大会実行委員長 真 鍋 立 夫



最近の本会の学術総会は、時代背景もあって少し沈滞気味なので、今回の「学術総会香川大会」は観光地ではありますが、琴平町という人口の少ない田舎町での開催ということなので、実行委員長としてはずいぶんと気を砕きました。まず早い段階で、予告パンフレットを色刷りで作成し、何枚も全国および関係者に配布郵送しました。3000枚作り後には増刷して5000枚に及びました。大会の呼び物は特別講演とシンポジウムでありますから、まず大会の統一テーマを考えました。

私が常日頃考えているところの、日本人の日常的な水分の取りすぎと、冷飲食、運動不足などと、瘀血病態との連関をテーマにしようと考えました。瘀血を単純に血熱による血液粘度上昇のための微小循環障害と考えることは、しばしば目にするところですが、冷えによる水の体内停滞と瘀血生成のメカニズムを研究し、臨床に応用する考えは、まだ十分には定着浸透していないように

が、冷えによる水の体内停滞と瘀血生成のメカニズムを研究し、臨床に応用する考えは、まだ十分には定着浸透していないように

思えたので、ここの部分をこのたびの学術総会では徹底的に追求したいと考えて、メインテーマを「漢方冷えの概念の追及」、サブテーマを「冷えによる水滯と瘀血形成の連関」として、シンポジウム並びに特別講演を企画しました。

特別講演には、私が以前聴講して感銘したミトコンドリアの研究で名高い、低体温症の恐怖を論理的に解明し、臨床効果をあげておられる、日本免疫治療研究会会長の西原克成先生を招聘し、かつ漢方会には画期的と思われる「バイデジタル O-Ring Test」をニューサイエンスとして紹介したいと思ったので、日本を代表する久留米の下津浦康裕先生を招聘することにしました。

お二人ともある程度懇意ではあるといえども超有名人であるので、講演料は覚悟しなければなりません。またシンポジストには交流会を代表する論客をお願いすることにし、それぞれ傷寒論研究家古方家としては本会の顧問である、広中隆志先生、鍼灸・氣功治療家、素問研究家としては東京漢方、本会副理事長の中川智代先生、故渡辺武先生の理論を駆使する立場としては本会終身漢方師範であられる河合斎先生、また地元香川を代表しては、香川の地場薬草研究家である馬場治收先生にお頼みして、それぞれ玉稿をいただき準備を進めておりましたが、私の盟友でもある馬場先生が急逝され、これには大変ショックを受けましたが、急遽代理として東海漢方の論客である、林誠一先生に「臨床を通して…」ということをお願いいたしました。大会は企画が良かったのか、「こんぴらさん」のおかげなのか、予想以上の参加者にめぐまれ、まずまず順調にことを進めることができました。関係者の皆様がたにこの紙面をかりて深くお礼を申し上げます。

私の心残りは、シンポジウムでございすが、私自身司会を引き受け張り切っていたのですが、何分多用で私自身の準備不足のうえ、シンポジスト同士の事前の打ち合わせなどが不十分であったため、せっかくのシンポジウムが迷走してしまい、十分な内容に仕上げるできませんでした。またとない機会であったのにと今でも残念に思っています。

しかし、事後多くの方々に大会に関するご批評をいただきましたが、多分にお世辞もあるのですが、おおむね良好なお話をいただけて幸に思っています。特に特別講演は私のくろみどおり、大変良い評価をいただきました。演者の方々の著書などもサービスで販売させていただきましたが、書店の方も驚くほどの売り上げで好評を裏付けるものでした。

以上簡単に大会の終了報告をさせていただきました。右にこのたびの参加者の一覧を示しますので参考にしていただきたいと思います。

研究会名	交流会 登録会員数	香川大会 参加人数	研究会名	交流会 登録会員数	香川大会 参加人数
個人会員	52名	18名	日中漢方 関西	38名	12名
広島漢方研究会	33名	6名	日中漢方 関東	52名	17名
京都漢方研究会	22名	11名	山口漢方研究会	4名	0名
近畿鍼灸漢方	9名	9名	熊本漢方研究会	11名	1名
岐阜漢方研究会	4名	1名	会員外 (一般)		85名
東海漢方協議会	33名	7名	学生		3名
東京漢方教育	26名	12名	招待者		7名
徳島和漢薬研	5名	5名	スタッフ		20名
九州漢方研究会	27名	8名	その他 (業者)		13名

交流会会員 107名
会員外一般 85名
招待者 7名
学生 3名
スタッフ 20名
その他 (業者) 13名
合計 235名

交流会登録会員数は316名ですから
約 34% の参加率でした。

第 41 回全国学術総会 香川大会に参加して

個人会員 (高松市) 古立ノブコ

琴平での大会参加は 2 回目になります。前は参加者人数も多く盛大だった様に覚えています。参加者の減少は若い人の熱意が少し減ったせいかなとも思いますが如何でしょうか。組織を作り維持していくのは並大抵の事ではないと思います。維持するためにも参加したいと思っています。

さて今回の内容は仲々よかったと思います。それぞれ皆さん頑張っているなと感じました。トコンドリアも O リングの話も初めての話でしたが興味深く聞きました。常々四逆湯類の著効には驚いていました。どうしてこんなに効くのだろうと不思議にも思っていました。ミトコンドリアの話を聞いて自分なりに納得という思いがしました。おしゃべりや幼児期の子育てについては納得いきませんでした。O リングの話を聞きながら経絡についてしっかり勉強しようと思いました。大会に参加し古典をしっかり勉強しようと再認識するいい機会ともなりました。一人の力は小さいですが皆で協力して漢方を世の役に立てたいものだと思っています。役員の皆様、今後共よろしく願います。

個人会員 中井得之 (康雄)

第 41 回全国学術総会香川大会は晴天に恵まれて、平成 20 年 11 月 23 日～24 日にわたり琴平町文化会館で行われた。琴平での大会は第 22 回大会以来約 20 年振りである。

今回は 100 年来の不景気と騒がれており、本来の薬局漢方業務が低調な雰囲気の中、地方での開催であるため、どれくらい

一まず「安全」であること一 安全 安心 安心のトリプル A それがウチダ和漢薬の最も重要なテーマです 株式会社ウチダ和漢薬 ●本社 東京都中央区日本橋本町4-2-8 ●本社事務所 東京都荒川区東日暮里4-4-10 03 (3806) 3846 http://www.uchidawakanyaku.co.jp	の 大正の時代から服み継がれてきた、漢方の老舗 ツバ印 建林松鶴堂 たてばやし・しょうかくどう 〈全国の薬局、薬店にてお求め下さい〉 http://www.kanpou-tatebayashi.jp		
生薬配合 入浴剤 延寿湯温泉 毎日の新しい習慣、美容と健康のための薬用植物入り入浴剤です。マツカワを配合したユニークな処方です!! その他、漢方の伝統的な処方に基づいて作られた丸剤も取り揃えております。お気軽にお問い合わせ下さい。 ●花柳大丸 ●花柳養解丸 ●花柳三枝丸 ●花柳桂枝茯苓丸 ●花柳八味地黄丸 小西製薬株式会社 東大阪市上石切町2-1309 TEL 0729-81-2429 http://www.konishi-ph.jp/	日本医学の先哲を尋ね、明治漢方の苦難を描いた、安西安周 幻の名著二冊が待望の復刻! <table border="1"> <tr> <td data-bbox="778 1899 1117 2157"> 復刻版 日本儒醫研究 安西 安周 著 A5判/上製/690頁/定価10,500円(税込) </td> <td data-bbox="1117 1899 1474 2157"> 復刻版 明治先哲醫話 安西 安周 著 A5判/上製/354頁/定価5,250円(税込) </td> </tr> </table> お申込み・お問合せ たにぐち書店 本店 〒102-8111-813 0120-811-817 http://t-shoten.com	復刻版 日本儒醫研究 安西 安周 著 A5判/上製/690頁/定価10,500円(税込)	復刻版 明治先哲醫話 安西 安周 著 A5判/上製/354頁/定価5,250円(税込)
復刻版 日本儒醫研究 安西 安周 著 A5判/上製/690頁/定価10,500円(税込)	復刻版 明治先哲醫話 安西 安周 著 A5判/上製/354頁/定価5,250円(税込)		

参加者になるのか? 実行委員長の真鍋先生は非常に心配されて、あらゆる関係者にPRされたようである。そのご苦勞の甲斐あって、会場は満員(約200名)になり先生の努力が実られたことは喜ばしいことである。まずはバンザイ!バンザイ!である。

また当日の世話方のスタッフについても心配しておられたが、関係しておられる鍼灸学校の教え子の協力を得て、大会が円滑に無事に終了出来た事は真鍋先生の人徳のなせる業であったと思う。改めてお世話になった皆様方にお礼を申し上げたい。

さて今回のテーマは(漢方冷えの概念の追及)サブテーマは「冷えによる水滯と瘀血形成の関連」である。冷えと瘀血は漢方独特の概念であり、古来からの命題である。

どのような意見が飛び出すか、大きな期待があり、楽しみでもあった。

◎市民公開講座は「薬漬けにならない明るい暮らし・漢方による健康作り」で地元の栗林病院の大熊康裕先生のお話である。素人に分かりやすく八味丸を例にして漢方の考え方を説明され、漢方は特徴として高齢化社会に向いていることを強調された。参加者は漢方を再認識されたことと思った。

◎特別講演(その一)は「低体温症と免疫病・口と顔の医学による難病の克服」で、日本免疫病治療研究会会長西原克成先生で、生命エネルギーと体温とミトコンドリア、ミトコンドリア免疫治療法を説明され、ミトコンドリアの存在意義を再認識させられました。また低体温、口呼吸、冷えた飲食物の恐ろしいことを指摘されました。ついで多くの事例をスライドにより説明され、漢方独特の寒熱の概念に大きな自信を持ちました。

◎特別講演(その二)は「バイ・デジタルO-Ring Testによる処方薬の適合試験」で日本Bi-Digital O-Ring Test協会副会長の下津浦康裕先生である。漢方とは関係のないように見られていたO-Ring Testの概念と事例とを聞き、大いに参考になった。交流会の会員の中にもこれを利用されている人がおられるとのことである。

◎最後は期待されたシンポジウム「冷えと水と瘀血」である。それぞれの立場(古方家:広中。日中医薬研究会:河合。鍼灸師:中川。日常の臨床:林。)の、4人の先生の登場である。それぞれの持論を述べられ大きな勉強になったが、テーマが大き過ぎたため、時間不足にもなり、まとまりにくかったようにも思われた。しかし初心者には漢方特有の基礎概念であることに思いを新たにしたことであろう。

◎会員発表は13名の先生方から熱のこもった発表が多く、持ち時間超過がしばしばあり、発表者も残念であった事でしょう。

◎大会全体を顧みると、冷飲食物、クーラーの氾濫する次代には時宜を得た大会内容であり、参加者は頭の中に多くのおみやげを入れて帰られたことでしょう。

本来の漢方の発表、討論の出来る場の少ない現状を見ると、今後ともに地味ながらも本大会全国学術総会が継続されることを心から願うものである。

「第1回冬期合宿講習会」の報告

長年の懸案であった「夏季大学」を「冬期合宿講習会」と名称を変更して、第1回は講師を須藤朝代先生にお引き受けて頂き、テーマ「漢方医学の実践」で2009年1月11日12日の2日間、京都の「コミュニティ嵯峨野」で開催いたしました。

参加者は日本各地より、遠くは九州、東北から来られ、会場はほぼ満席でした。天候にも恵まれ、交通に支障なく、12日の朝には水墨画のような雪景色の嵐山を眺めることができました。

冬期講習会では一人の講師に一貫した考え方とテーマで2日間に渡り講義して頂きます。今回は須藤先生に、長年の経験に基づいた「陰陽五行論に沿った食を中心とした漢方治療」を分かりやすく解説して頂きました。また治療の実例を患者様御自身にお話しして頂きました。

とても熱意の伝わる講義と、漢方と食養生の効果の素晴らしさに2日間があつという間に過ぎてしまいました。講義中や休憩時間中にも多くの質問があり、夜の自由参加の補習講義にもほぼ全員の方が参加されるなど、とても活気のある講習会となりました。



日本漢方交流会 学術部

漢方現代医療に生かす。 オスギ医療用漢方製剤 ■オスギ医療用漢方製剤は合計112品目 ●お問い合わせ、および学術資料のご請求は、下記事業所へどうぞ。 オスギ 大杉製薬株式会社 本社営業本部 〒545-0002 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2 ☎(06) 6693-3301 東京・大阪・福岡・札幌・青森・仙台・大宮・横浜・名古屋・京都・広島・高松・鹿児島	和漢生薬問屋(創業昭和50年) 株式会社 田沼商会 TEL 04-7153-1143 FAX 04-7152-1188
漢方とよくふれあう人 製造販売元 小太郎漢方製薬株式会社 大阪市北区中津2丁目5番23号 フリーコール ☎ 0088-25-4193	ジメイ丸 360丸(中国名:耳鳴丸) 耳鳴りでこんなつらい症状はありませんか? ● 貧血がみで、耳鳴りに悩まされている ● 睡眠不足が続くと悪化する ● 疲れがたまると悪化する ● いらいらすると悪化する 発売元 ■ ナチュラルヘルスの 松浦漢方株式会社 ● 本社営業所 〒466-0054 名古屋市中区上町24-21 TEL (052) 883-5131 FAX (052) 883-5137 ● 東京営業所 〒101-0037 東京都千代田区神田産田町2 TEL (03) 3254-7477 FAX (03) 3258-1707 ホームページ http://www.matsuura-kp.co.jp

盛況のうちに終了し、最終的には参加者は 48 名に達し、参加費だけで運営することができ、かなりの黒字となりました。
参加者の多くは交流会の会員で無い方で、講習会終了後には数名の参加者より日本漢方交流会入会申込書を頂き、また他にも入会したいという方が数名ありました。学術部では来年の「第 2 回冬期合宿講習会」は落合富雄先生に講師をお願いしております。今年以上に活気のある会にする予定です。

第 8 回・初学者のための漢方運用講座 in 関西

平成 21 年 2 月 22 日 (日) 10:30 ~ 17:00 於・チサンホテル新大阪

“婦人病の漢方療法”をテーマに、日本漢方交流会誌など、早期に案内を発送していたにも拘らず事前申し込みは 24 名。当日になり 60 名の参加があり胸を撫で下ろした次第です。

林誠一講師・漢方基礎理論「薬味薬性」。太田順康講師・婦人病に対する漢方処方店の店頭応用。高橋宏和講師・初学者のための問診講座。三講師とも漢方的な考え方、見方などを随所で説明され充実した内容に参加者は身を乗り出して熱心にメモを取られていらっしやうった姿が印象的でした。八割以上の方が会員外で、この方々が日本漢方交流会入会に繋がり、漢方の勉強を続行されるべく手立てを講ずる必要性を感じました。



企画部・関西・菊一環子

第 8 回・初学者のための漢方運用講座 in 関西に参加して

① 村木重伸

初学者のための漢方運用講座 in 関西が 2009 年 2 月 22 日にチサンホテル新大阪で会場は満員となり盛会に開催されました。まず林誠一先生によります漢方基礎理論「薬味薬性」におきましては、漢方の勉強するに当たっての入り方や、陰陽五行説に基づいて五味・五氣の作用を分かりやすく、代表生薬など紹介いただき、東洋医学の基礎的な考え方を身につけることが出来、さらに考えを深めることの出来る有益な内容でした。

次に太田順康先生によります「婦人病に対する漢方処方の店頭応用」では、いつもながらの噛み砕いた表現で、「不定愁訴症候群・更年期障害・血の道」「冷え症」「月経異常・月経困難」におけます汎用処方の運用においてポイントを的確についた解説で、すぐに使える実践的なお話でした。

最後に高橋宏和先生によります「初学者のための問診講座」では、まず望診・聞診・問診・切診の解説をしていただき、その中で問診の必要性・問診の注意点・問診のポイント(汗、口渇、食欲、痛み、便秘、腹痛、家族歴、居住歴、職場環境、既往歴等)を症例を交えて、問診の勘所をうまく説明いただき、問診の質が高まること即ち医術力が高まることを実感いたしました。今回の講座も時間があればいくらかでも聞きたい、大変充実したバランスの良い内容で、講師の各先生には大変感謝する次第でありました。

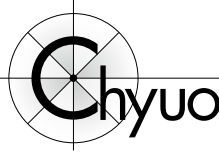
② 高山 紗綾

今回で 4 回目の参加です。テーマは薬味薬性、婦人科系の漢方処方と問診の方法の 3 つでした。薬味薬性の解説は単に生薬の気味に留まらず五行説と合わせて気候、季節との関連性や食事の重要性も含めて説いて下さり、奥の深い内容でした。婦人科系漢方の解説は似たような処方の違いなど以前からの疑問が解消し、個人的にも興味深く聞きました。問診の仕方については明日から仕事に活かすべき内容でした。全体を通して具体的な症例とともに初心者にも分かりやすく漢方理論を説いてくださる貴重な講義でした。是非次回も参加したいと思います。

(新入会員のご紹介) 順不同

雨宮 昌男 (あめみや まさお)	個人会員	丸笹 信彦 (まるざさ のぶひこ)	個人会員
梅田 秀男 (うめだ ひでお)	個人会員	安藤好太郎 (あんどう こうたろう)	日中医薬研究会関東支部
大軒 悟 (おおのき さとる)	個人会員	近藤 佳代 (こんどう かよ)	日中医薬研究会関東支部
奥平 智之 (おくだいら ともゆき)	個人会員	井上 貴代 (いのうえ きよ)	個人会員
西村 仁志 (にしむら ひとし)	個人会員	中村 友香 (なかむら ともか)	東海漢方協議会
荒木貴志子 (あらか きしこ)	東京漢方教育センター	木原 敦司 (きはら あつし)	個人会員
佐々木 剛 (ささき たけし)	東京漢方教育センター	藤本 直希 (ふじもと なおき)	個人会員
湯田 康勝 (ゆだ やすかつ)	東京漢方教育センター	古川 和久 (ふるかわ かずひさ)	個人会員
中野 伸二 (なかの しんじ)	徳島和漢薬研究会	福井 仁照 (ふくい にんしょう)	近畿鍼灸漢方研究会
河野 浩明 (かわの ひろあき)	広島漢方研究会		

★今回、薬事法改正で漢方薬の郵送が禁止される事が判った。黙認できないので本会顧問の吉峰弁護士に相談しながら行動を起こします。別紙の文書を患者さんに見せて協力してもらってください。



有限会社 中央ファイリング

印刷、製本 企画、デザイン DTP 入出力

〒761-8071 香川県高松市伏石町2157-8 TEL(087)868-3433 FAX(087)868-3475

日本グラフィックサービス工業会香川県支部 会員

▶▶ 広報担当からのお知らせ

- 日本漢方交流会ホームページを立ち上げております。活動予定などを掲載できますので広報委員までお知らせ下さい。パスワードは kaiin でお入りください。

平成 21 年 2 月編集